

たかはま子ども市民憲章誕生10周年記念

おとなも こどもも



高浜市子どもと大人の関係を考える委員会

【 あ い さ つ 】

～ 誰もが大切なひとり、たくさんの人に支えられて自分がいる～
平成13年7月、高浜市民が関わる、『ひろば(168)委員会』が立ち上がりました。いろんな思いを持つ、人と人がつながる「高浜市の未来」を考える仲間の集まりでした。その中に「子どもグループ」があり、「たかはま子ども市民憲章」の内容はここで話し合われました。子どもグループには、子どもはもちろん、子どもとのかかわりを求める大人がいました。一緒になって何をするかを模索し、実際に取り組んだりして、同じ時間の中で考えを共有しました。その中で、大人が考える子ども、子どもが考える大人について、互いを知るためのアンケートを実施しました。結果の一つとして、大人と子どもの意識にはズレがあることに気づきました。

アンケートをもとに、子どもの意思を表現するため、平成15年11月に「たかはま子ども市民憲章」が制定されました。子ども同士で考え、気づいたことや感じたことを、素直な言葉で綴ったメッセージとなっています。たとえば、相手を思いやることや、自分自身を好きでいること、みんな大切なひとりなんだよということ。話し合う中で、それらすべてが彼らの気持ちの中で育っていったものでした。その後、副読本として絵本が2冊出来ました。子ども向けに描かれた「わたしはね・・・」は、子どもが絵を見ながら選んだり、自身のことに置き換えたりするイメージができます。また、親や兄弟とのコミュニケーションにもつながる工夫がされています。大人向けに描かれた「おとなもね・・・」は、大人だって最初から子育てを完璧にできる人間なんていないんだということ、自分一人で頑張らなくてもいいんだよというメッセージが込められています。

憲章の制定後は、啓発活動として笑顔の写真展や広報への四コマ漫画掲載が行われ、今回の「おとなも こどもも」の発行にも、憲章の思いが引き継がれています。

現在、高浜市は子どもと大人の笑顔があふれ、笑顔のバトンでみんながつながる「まちづくり」の真っ最中です。今後も高浜市の未来、子どもたちの明日への働きかけは続いていきます。

高浜市子どもと大人の間を考える委員会
委員長 古橋知美

も く じ

たかはま子ども市民憲章	3 ~ 5
四コマ漫画『おとなも こどもも』	6 ~ 53
たかはま子ども市民憲章の啓発活動	54 ~ 70
啓発冊子の作成・配布	
笑顔の写真展	
NPO法人あいちCAPプラスの紹介	71
たかはま子ども市民憲章年表	72

「たかはま子ども市民憲章」は、子どもを市民として尊重し、子どもと大人が共に市民として地域を支え合っていくことが、高浜市と子どものために最善な方法であるという思いのもとで、平成15年11月1日に制定されました

たかはま子ども市民憲章の特色は、全国で初めて、地域を共に支える市民として子どもが登場したことです。さらに、子ども自身の考えと言葉が反映されたものであることも大きな意義を持っています。

「子どもから」については、高浜市の子どもと大人の思いのズレを埋めていくという視点に立って、子どもたちができる限り「高浜の子どもたちの思い」を客観的に表現し、大人へ、また同世代へ発信するという趣旨で作られました。「自分らしく生きていきたい、友達や親、兄弟とも互いに人間的な信頼関係の中で支え合って生きていきたい」「さまざまな学びや経験により、自分らしい力を蓄えていく」「自己を脅かされる状態からの解放」という3つの大きなメッセージと共に、それらの目標に向かって進んでゆく努力の仕方についてが、子ども自身の言葉で率直に語られています。

「おとなから」は、「大人が幸せでなければ、子どもも幸せになれない」という思いを前提に考えられています。「大人も自分らしく生きていきたい、その姿を子どもに示すことが大切」「子どもの生き方を比較するのではなく、子どもの“自分固有の人生を生きる”ことを認めていく」「子どもが人間として生き抜いていく力をつけていくための学びへの支援」「まちづくりの一環として、子育て支援・子どもの自治と居場所支援・安心して相談・権利救済できる仕組みをつくる」「戦争や環境破壊などの問題が地域のあり方にも大きく影響を与えている時代であることをふまえ、高浜から世界に発信できる憲章にする」というメッセージが込められています。

子どもに対して、生きていくうえでプレッシャーを与えるのではなく、子どもの意思や力を尊重し、生きる希望を与えるためのメッセージ。それが「たかはま子ども市民憲章」です。

たかはま子ども市民憲章

平成15年11月1日制定

わたしたちは、国連・児童（子ども）の権利条約の理念をふまえ、人間性豊かで誇りの持てる高浜を創っていきます。そのためには、子どもとおとなが市民として、互いの意志と力を尊重し、理解を深め合うことが大切です。そこでわたしたちは、現在及び未来の高浜のまちを支え合っていくために、ここに「たかはま子ども市民憲章」を定めます。

【子どもから】

1. みんなで幸せになる権利がある。だから、自分の心を閉ざさないで。短所も、別の見方をしたら長所かもしれない。自分のことをもっと好きになって楽しもう!
2. わたしは世界でただひとり、だから大切。あなたも世界でただひとり、だからやっぱり大切。お互い大切なんだから、いやがることはしないようにしよう。
3. 学校の勉強だけが学ぶことじゃない。遊びからも友達からもたくさん学ぶことができる。だから遊びと友達を大切に。もちろん勉強も大切!
4. けんかはほどほどに。けんかもそんなに悪いことじゃない。けんかから学ぶことだってあるしね。
5. 怒りたくてもすぐにださない。趣味や夢をみつけて発散しよう!それでもイヤなことがあったら「ムカツク」の一言で終わらせないで、自分の感情をもう少し細かい言葉で表現してみよう。
6. ひとりで悩んだりしないで、誰かに助けを求めたっていい。別に恥ずかしいことじゃないからさ。
7. なんでも今、自分が「一番」とは限らない。でもそれに近づくようにがんばって上をめざしていこう。自分らしい、自分なりのがんばりで、コツコツ コツコツ少しずつでいいよ。
8. 何事にも全力投球!でも気楽に行こう。チャンスはいつもそばにある。

【おとなから】

1. 自分を大切に、希望をもって生きる姿勢を示していきたい。
2. どの子どももみんな一人ひとり違います。その違いをその人の豊かさとして受けとめます。
3. 子どもが自分と周りを変える力をつけるために学び、活動していくことを支援します。
4. 完全さを求めず、子どもが自分を出せるようにゆとりと寛容さをもって接します。
5. 子どもに愛情をもって接し、干渉しすぎたり、ひとりで背負い込まないで、地域の人びととともに子どもの自治を支え、楽しく子育てを進めます。
6. 子どもが安心して集い、交流し、ありのままの自分を出せるような居場所を子どもとともに創っていきます。
7. いじめや虐待など権利侵害を受けることなく、子どもが安心して生活できるように、いつでも相談でき、救済・回復できるようなしくみを整えるよう努めます。
8. 子どもとともに、民族的、国民的、宗教的な偏見を持つことなく、相互の理解、寛容の精神のもとで、地球市民として日本と世界の平和を願い、この世界から戦争や争いがなくなるように努めていきたい。

この憲章は、高浜市の子どもたちのために、子どもの言葉を取り入れてつくられました。

憲章には、次のメッセージなどが込められています。

「誰もがみんな、かけがえのない大切な命を持っている。」

「誰もがみんな、違う個性を持っている。」

そして、「それらが、とてもすばらしいものだ。」ということ。

皆さんにそういうことを知ってもらうために、絵本などをつくっています。



この四コマ漫画は、高浜市のみなさんから募集した子育て中のエピソードを漫画化したものです。



～忘れていませんか？誰もがみんな子どもだったこと～

大人と子どものよりよいかかわりとはどのようなものなのでしょう。私たち「子どもと大人の関係を考える委員会」では、このことについて今まで深く考えてきました。大人だからといって子どもの気持ちは簡単にはわかりません。人は成長していく中で、少しずつ子どもの頃の気持ちを忘れていってしまうからです。しかし、ふと自分が子どもだった頃を思い返してみると、“今、目の前にいる子どもの気持ち”や“今、大人として子どもに伝えられること”が見えてくるのではないのでしょうか。

たかはま子ども市民憲章は平成25年11月1日で制定10周年を迎えました。今回はこれを記念し、平成19年4月1日号広報から掲載を開始した、市内在住の漫画家たかはまこさんが描く四コマ漫画を一挙にご紹介すると共に、これまで行われてきたたかはま子ども市民憲章の啓発活動をご紹介します。四コマ漫画のエピソードはすべて、市民のみなさんからご応募いただいたもので、その内容は子どもと大人の日常のかかわりから生まれたものです。

この本をご覧いただくことを通して、日々育まれる子どもたちの豊かな心に目を向け、自らを省みて今だからこそ子どもに伝えられることを考える、そんなささいな機会をみなさんにお届けできたらと思います。

高浜市子どもと大人の関係を考える委員会
委員長 古橋知美



私が平成19年の春に、たかはま子ども市民憲章をテーマにした、この四コマ漫画をお引き受けしてから早、丸7年が経とうとしています。毎回、市民の皆さんからお寄せいただいたエピソードをもとに描かせていただいています。大人の視点から見た子どもの言動、子どもの視点から見た大人の言動、子どもと大人の、ほんの少しの感覚のズレが笑いを誘い、大変ほほえましいエピソードばかりで、漫画にするのも、楽しくやらせていただいております。身のまわりの失敗や間違いのお話が多いのですが、この笑えるエピソードの数々は、その人に愛情を持ち、認めている上での視点だからこそ生まれる笑いなんだと思います。そこに愛情がなければ、同じ失敗・間違いのエピソードも、怒りや情けなさの先だった、楽しくもないエピソードになることでしょう。やっぱり愛情は笑いを生むんですね。

悲しいことに、子どもは個性的であればあるほど、学校でも家庭でも理解されにくく、認められない傾向にあると思います。たかはま子ども市民憲章のような理念が、高浜市だけでなく世界中に浸透し、すべての子どもがひとりひとり、当たり前のように認められる世の中になると良いですね。

漫画家
たかはまこ



好きキライ

親子それぞれ



ついつい口出し



だれが運動不足?



スーパーにて



芸術家になるかもしれないし



自分のことは自分で



シトリ



サンタさんの苦勞

口だけりっぱ



大事なおもちゃ

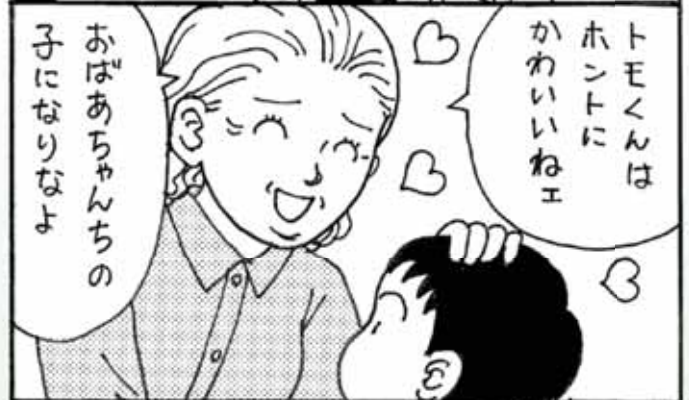


愛情の示し方



ORTHOEPY

無理を言わないで



かわい | 聞きまちがい

ひとりでしゃべってた



かわいなおせっかい

牛乳嫌い



ぶ～ぶ～ちゃんは眠れない



お気に入りの言葉

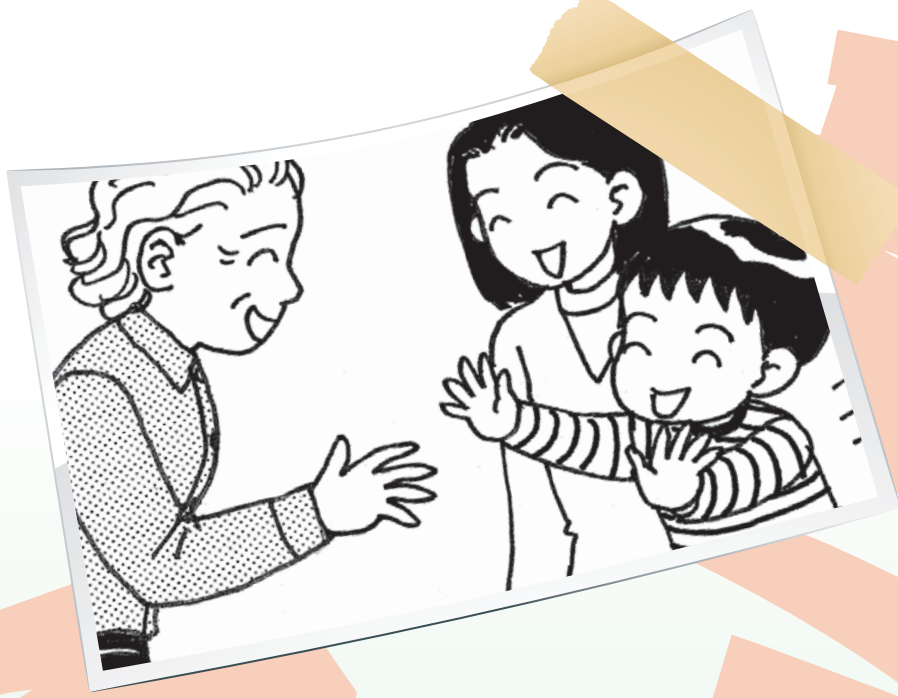


そんなにすごくない



わが家の節分





聞きまちがえてゴメンネ



大人って...



せっけんの話

弟はトカゲ好き



自分だけ満足

兄弟ゲンカ



携帯電話の使い方

うっかりミス



そのワタじゃないよ

お兄ちゃんのイタズラ



こわいごはん

×2



漢字の勉強

無事でなにより



メルヘンちゃん



ごほうび

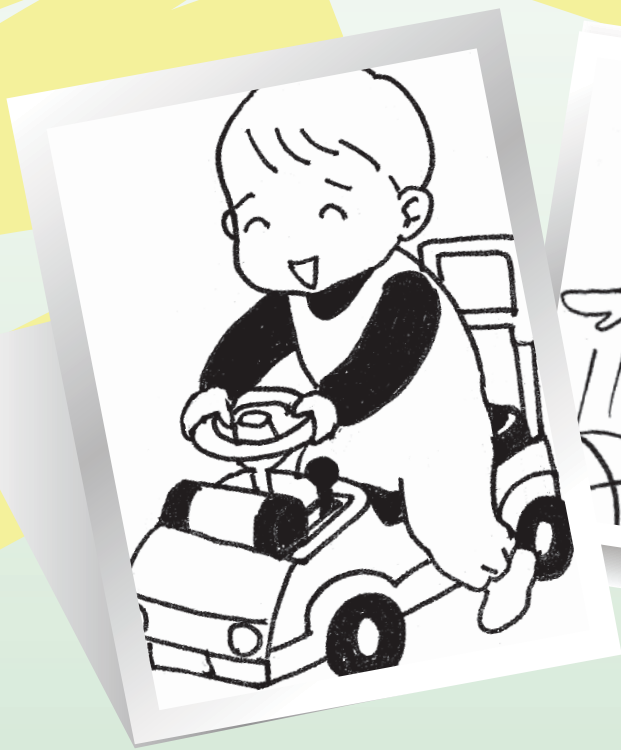


命令口調

すてきなお手伝い







夢みるちかちゃん

お互いさま



おとうさま

酔っぱらってなくても



缶ジュース



先生のお話



時間がないのに

ママVSパン



ちょっぴりいじわる姉さん

おすすめスポット



まわりすぎ



弟子入り?



かくれんぼ



安全確認



そうじ当番



私が買ってあげたのに



まさにそんなカンジ



行動原理

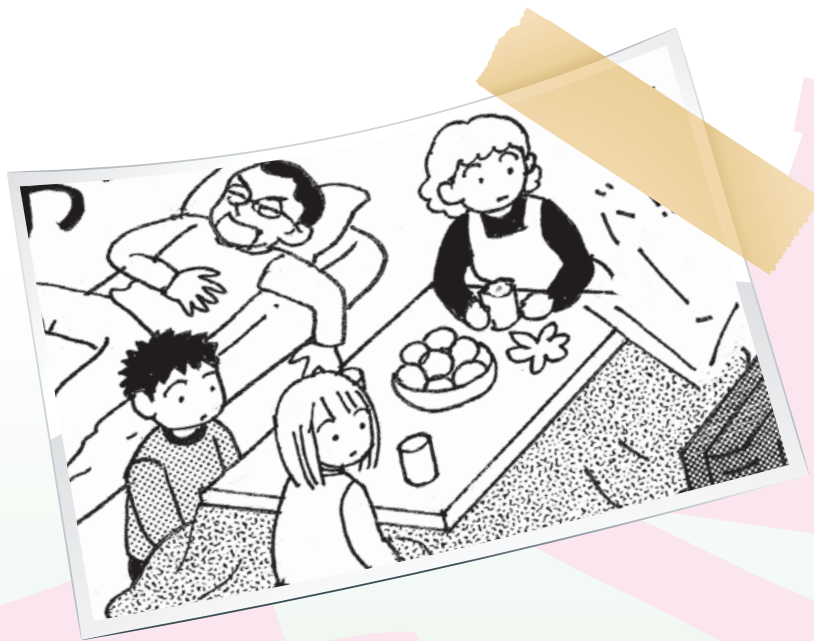


ちゃんとしゃべれます



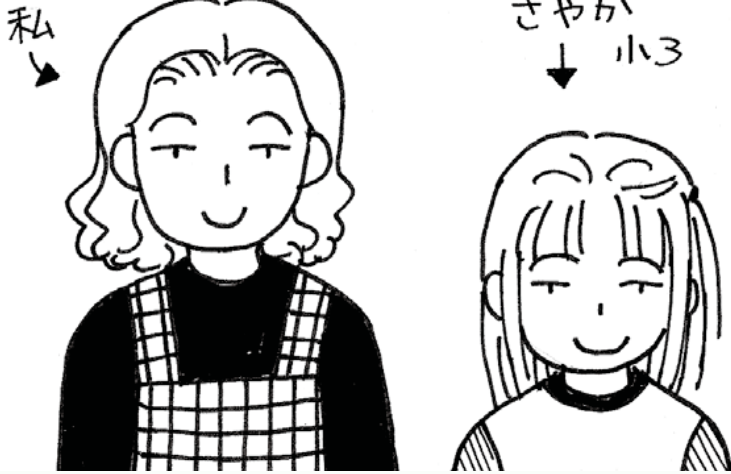
何をしたの？







目の上と目の下

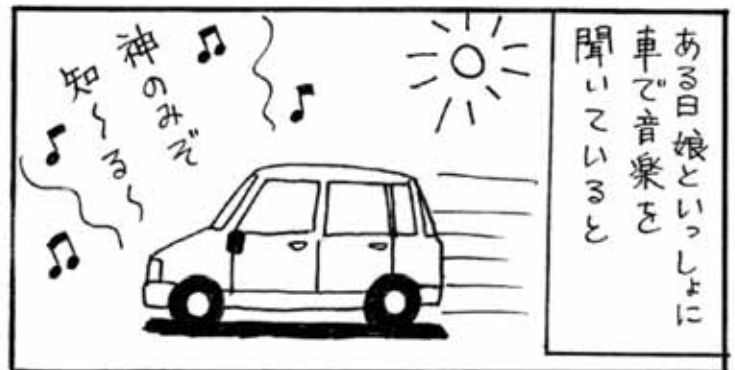


そうだったの!?



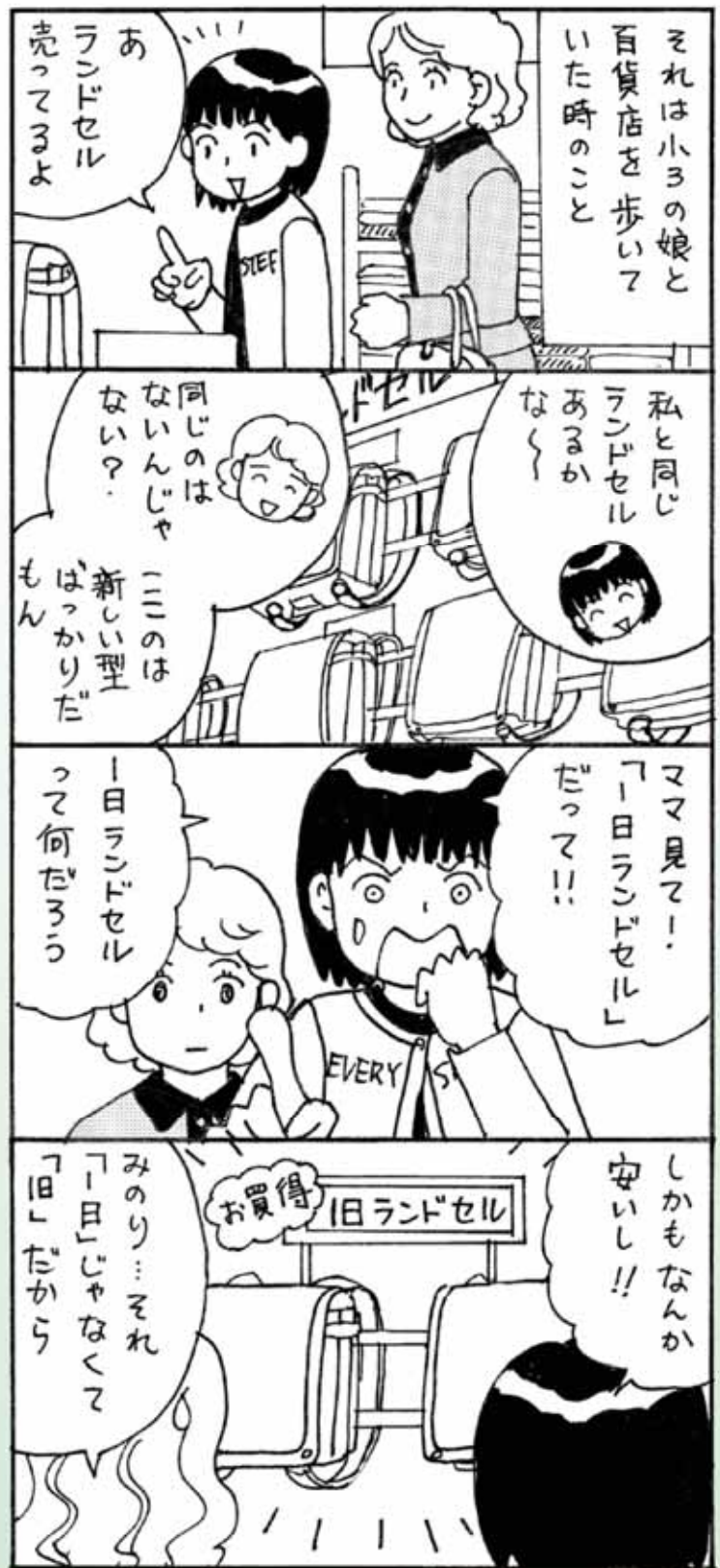
毎晩こわい夢

もっと勉強しなさい



昼寝を10時間

ランドセル



彩乃ちゃんの夢

熱唱



メモにご注意



歯みがき競争



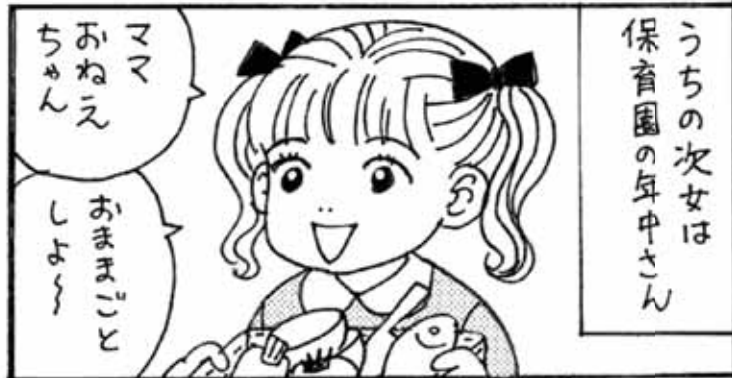
写真つき年賀状



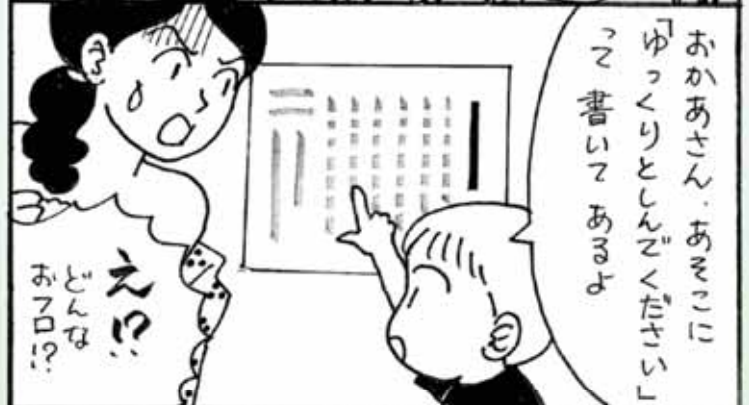
ためき寝入り



おままごと



恐怖の温泉



そんなに怖いの？



股関節



夏の風物詩

それどんなぼうし?



夫婦ゲンカ



ナゾのラクガキ



お父さんの攻撃



おかしだと思った



たかはま子ども市民憲章の啓発活動

【啓発冊子の作成・配布】

たかはま子ども市民憲章を、子どもたちや子どもの保護者を含めた大人を対象に分かりやすく伝えるために、パンフレットや絵本を作成しました。

10代向けパンフレット『HIROBA』 平成16年

10代の子ども向けに手作りのパンフレットを作ろうという声から作成されました。レイアウトや色付けも子どもの手で行いました。



子ども向け絵本『わたしはね・・・』 平成16年

たかはま子ども市民憲章を分かりやすく伝えようと、子どもたちのために描かれた絵本です。「おたがいに分かり合おう」「しっばいしてもいいんだよ」これらのことをみんなで話し合えるようになるといいなと思います。



【笑顔の写真展】

高浜市に在住・在勤・在学の方を対象に、家族や友人・地域の方の「笑顔」を撮影した写真を募集し市内に展示しています。この写真展は、たかはま子ども市民憲章の普及・啓発と共に、家庭内や地域のコミュニケーションを深めるきっかけ作りとして平成21年度から始まり、毎年11月に実施しています。

応募作品の中から、高浜市子どもと大人の間を考える委員会の選定による「笑顔賞」、あいちCAPプラスが選定する「CAP賞」、人気投票で最も得票数の多い作品に贈られる「人気賞」を選び、表彰を行っています。

毎年たくさんの笑顔が届けられ、その表情からは多くのふれあいやつながりを感じることができます。

「笑顔の写真」募集要項
～大人や子どもの笑顔に会いたい～

高浜市子どもと大人の間を考える委員会

あいちCAPプラス

募集期間：平成27年10月1日（土）～11月30日（日）

募集場所：高浜市子どもと大人の間を考える委員会事務局

笑顔の写真
大募集

子どもと大人の間を考える委員会では、高浜市で毎年11月に開催される「笑顔の写真展」を開催しています。今年もたくさんの笑顔を集めたいと思います。

募集期間：平成27年10月1日（土）～11月30日（日）

募集場所：高浜市子どもと大人の間を考える委員会事務局

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

たかはま

高浜市子どもと大人の間を考える委員会事務局

写真募集チラシ

「笑顔の写真」募集要項

高浜市子どもと大人の間を考える委員会

あいちCAPプラス

募集期間：平成27年10月1日（土）～11月30日（日）

募集場所：高浜市子どもと大人の間を考える委員会事務局

募集要項

募集対象：高浜市に在住・在勤・在学の方

募集内容：笑顔の写真（大人や子どもの笑顔）

募集期間：平成27年10月1日（土）～11月30日（日）

募集場所：高浜市子どもと大人の間を考える委員会事務局

広報写真募集ページ



水遊びだーいすき!!

間瀬 智広

お天気もよくて気持ちいいね! いつも仲良しな2人です。



アンパンマンといっしょ

成田 篤彦

アンパンマンが大好きな娘です。一緒に写真が撮れて大喜びです!! 寝る時も一緒にお気に入りアンパンマンとの2ショットです。



えがおでしょうぶっ!!

沓名 浩之

子どもの日に菖蒲湯に入りました。頭に菖蒲を巻きつけて、気合十分! とびっきりの笑顔で勝負!!

敬称略



川遊び

内藤 翔大

すごく天気がよかったので、川遊びに行きました。川の水はつめたくてきもちよかったです。



できたー!!

石川 和子

今は毎日、お箸の練習中。この日は小魚をつかめてニッコリ笑顔。

おやつ時間

塩谷 豪也

大好きな乳酸菌飲料を飲んで、ごきげんな2人(双子)です。





外で食べるとおいしいね
北地 麻里
公園でお弁当を食べています。
ふたりともごきげん!



サイコ~!!
増田 侑里
愛知県大会で2位! 頑張った結果の
サイコ-の笑顔です!!



スイカ おいしー
内藤 瞳

みんなでキャンプに行っ
たよ。スイカわりしたあと
のスイカは絶品でした。

敬称略



笑顔の輝き

高木 俊子

夏休みの宿題もおわり、仲良しの友達と花火をしました。「たのし～い」とみんな大喜びでした。子どもたちの笑顔、花火の光より光輝いています。



我が家のひまわり3姉妹

山本蒼依 山本和奏

いつもひまわりのようにニコニコ笑顔。暑さなんてふっとばせ～。



ふたりの夏

山下 由利子

妹が産まれて、初めての夏。いつもはひとりだったけれど、ふたりになるともっと楽しい。これからいっぱい遊ぼうね。

敬称略

















NPO法人あいちCAPプラスの紹介

CAP(Child Assault Prevention)は、子どもへの暴力防止・人権教育プログラムです。

いじめや誘拐、また親からの虐待など、子どもへの暴力は後を絶ちません。暴力は、子どもの心や身体を深く傷つけるものです。

もし、いじめられたら・・・誘拐されそうになったら・・・いやなさわりかたをされてこわい思いをしたら・・・そのような暴力に直面したとき、子どもはどんなことができるでしょうか？また、私たちおとなは、子どもから相談を受けたとき、どう対応したらよいのでしょうか？

これまでおとなは「～してはいけません」と子どもの行動を規制し、おとなが子どもを保護することで危険を回避しようとしてきました。それは時に、子どもの自立心をそこない、ひとに対する不信を教えることにもなります。

CAPプログラムでは、「安心」「自信」「自由」をキーワードに、もし危険な目にあったときには何ができるのかを、具体的に伝えていきます。子どもたちが本来持っている可能性や力を信じてそれを引き出し、自分を大切にする心(自尊心)を育むようにはたらきかけます。

「NPO法人あいちCAPプラス」は、県内の市町村から委託されたワークショップでCAPプログラムを実施することを通じて、学校・家庭・地域の連携を図り、子どもにとって安全で安心できる地域社会づくりに貢献し、子どもの人権が尊重される社会をめざして活動を続けています。高浜市では、幼稚園や保育園、小学校、中学校でプログラムを実施しています。



市内幼稚園・保育園でのプログラム実施風景

たかはま子ども市民憲章に関する年表

年	月	項 目
平成13年 平成14年	7月	168人(ひろば)委員会 設置。グループに分かれて活動 子どもグループ にて子ども市民憲章づくりについて検討を開始
	10月	第1回検討委員会開催
	11月	第2回検討委員会開催 第3回検討委員会開催
	12月	委員長・市長との懇談(憲章への子どもの意見反映、市の協力等について) 第1回幹事会開催 子ども市民憲章づくりワークショップ開催 第2回幹事会開催
平成15年	1月	第4回検討委員会開催 子どもプロジェクト「子ども市民憲章をデザインしようワークショップ」合宿開催
	2月	第5回検討委員会開催 子どもプロジェクトによる学校訪問、憲章の説明会開催 第6回検討委員会開催
	3月	第7回検討委員会開催 「たかはま子ども市民憲章案」が承認
	6月	たかはま子ども市民憲章案に関するパブリックコメント実施
	7月	第1回高浜市子ども市民憲章普及啓発委員会開催
	11月	たかはま子ども市民憲章制定
平成16年	3月	10代向けパンフレット「HIROBA」発行
	11月	子ども向け絵本「わたしはね・・・」発行
平成17年	4月	市立図書館 ブックスタート事業として「わたしはね...」の読み聞かせと配布を開始
平成18年	2月	大人向け絵本「おとなもね・・・」発行
平成19年	4月	四コマ漫画「おとなも こどもも」広報に連載スタート(平成19年4月1日号)
平成20年	4月	子どもと大人の関係を考える委員会設置
平成21年	11月	「笑顔の写真展」開始(展示会場:勤労青少年ホーム 応募点数76点)
平成22年	11月	「笑顔の写真展」(展示会場:勤労青少年ホーム 応募点数63点)
平成23年	11月	「笑顔の写真展」(展示会場:いきいき広場 応募点数58点)
平成24年	11月	「笑顔の写真展」(展示会場:いきいき広場、勤労青少年ホーム 応募点数59点)
平成25年	11月	「笑顔の写真展」(展示会場:いきいき広場、市立図書館 応募点数38点)
平成26年	3月	たかはま子ども市民憲章四コマ漫画冊子「おとなも こどもも」発行

168人(ひろば)委員会・・・「地域福祉計画」策定に関する市民参加型ワークショップ
子どもグループ・・・「子どもから大人へのメッセージ～子どもの権利について考えてみよう～」をテーマに、
小・中学生を中心に校長OBや人形劇に取組むお母さん等がメンバーとして活動

たかはま子ども市民憲章誕生10周年記念『おとなも こどもも』

平成26年3月14日 発行

エピソード提供 高浜市のみなさん

絵 たかはまこ

発行 高浜市子どもと大人の関係を考える委員会
高浜市・高浜市教育委員会

愛知県高浜市青木町四丁目1番地2

TEL 0566-52-1111(代)

FAX 0566-52-1110

印刷・製本／中埜総合印刷株式会社

たかはま子ども市民憲章
誕生10周年
記念

